

病理部門

【企画趣旨】

正確かつ高精度な検査結果の提供を目指し、多くの施設が ISO 15189 の取得または取得を目指して努力しています。この動向の中で、病理検査室における ISO 15189 の取得要件の 1 つは適切に整備された作業環境の確保です。適切な作業環境の整備は、検査の精度保証、品質管理、有害・感染性物質からの技師の暴露予防につながります。

しかしながら、検査室環境の改善や機器の配置、感染防止、試薬の管理、標準作業手順書の作成、病理細胞検査の運営など、具体的な取り組みや工夫に関する情報共有の機会は限られています。そのため、異なる施設がどのようにして上記のマネジメントを実践しているのかを講演していただき、このシンポジウムを通じて、作業環境の整備や品質管理の取り組み、実際の運営のアプローチなどを共有し、病理検査室の未来に向けての展望を議論していきたいと考えています。